

令和5年度

学校関係者評価報告書
(年間)

令和6年 3月21日

学校法人 東洋学園

宮崎医療管理専門学校

はじめに

宮崎医療管理専門学校では、学則及び自己点検・評価規程に拠り、自己点検及び学校自己評価を実施しております。令和5年度の学校運営や教育活動等につきましても、実施要項に基づき評価し、その結果を報告書として取りまとめました。

以上をもとに、令和6年3月18日に第2回学校関係者評価委員会を開催しましたので、その評価結果について、ここに報告いたします。

なお、本報告書につきましては、学校自己評価報告書と同様、本校のホームページにて公開いたしますことを申し添えます。

令和6年 3月21日
学校法人 東洋学園
宮崎医療管理専門学校
学校長 川野 竜太郎

1. 宮崎医療管理専門学校 学校関係者評価委員会 委員一覧

関係機関・団体・企業	職名	氏名	備考
社会医療法人 慶明会	常務理事	牧野 剛	
社会福祉法人 宮崎市社会福祉協議会	事務局次長	井畑 信二	
社会医療法人 善仁会 総合健診センター	統括	川端 利彦	委員長
社会福祉法人 芳生会	元施設長	坂口 和幸	同窓会会長
社会福祉法人 恵浄福祉会	園長	川添 教道	

事務局

宮崎医療管理専門学校	学校長	川野 竜太郎	自己点検・評価 委員会委員長
〃	教務部長	川野 哲朗	自己点検・評価 委員会委員

2. 委員会次第等

1) 日時 令和6年 3月18日(月) 14:00~14:50

2) 場所 宮崎医療管理専門学校 会議室

3) 次第

- (1) 開会、委員長挨拶
- (2) 事務局挨拶
- (3) 令和5年度自己点検・評価報告
- (4) 各委員からの評価及び意見
- (5) まとめ

3. 内容

1) 川端委員長挨拶

学生募集停止となったが、違う形での存続も念頭に、アクティブに夢を持って本校の運営にあたってほしい。教育活動の継続、学校評価をふまえた改善に資する積極的な意見、アドバイスを提示していきたい。

2) 事務局（学校長）挨拶

本校の歴史及び実績、学生募集停止の経緯等の説明。教育の質を確保するためにも、評価活動を継続する必要がある。引き続きご支援いただきたい。

3) 自己点検・評価の取り組み状況、結果について

(1) 令和5年度自己点検・評価実績報告（別添） <事務局：教務部長>
令和6年度自己点検・評価要項（別添） //

(2) 令和5年度自己点検・評価報告（別添） <事務局：学校長>
※10項目及び各評価項目について、課題及び改善策等、一部詳細説明、報告

<評価項目>

- | | | | |
|-------------|--------------|-------------|--------|
| 1 教育理念・教育目標 | 2 学校運営 | 3 教育活動 | 4 学修成果 |
| 5 学生支援 | 6 教育環境 | 7 学生の受け入れ募集 | 8 財務 |
| 9 法令等の遵守 | 10 社会貢献・地域貢献 | | |

4) 各委員からの評価及び意見 ※質問、意見等順に記載

評価の高い項目と学生募集停止に伴い、特に学生募集に係る項目について意見等なかった。学生募集停止をふまえ、教育の質の確保、卒業生の対応等に関する質問、意見を多くいただいた。

(1) 項目3：牧野委員、川端委員、井畑委員

- ・教職員の動向について、募集停止、本校の運営縮小に伴う影響はないか。保護者の不安、教職員のモチベーション、途中退職や再就職先の確保等懸念される。

→ 事務局：募集停止に伴う対応（実施済み、都度の対応）等説明。
教員の配置基準（数、要件）もあるが、募集活動の停止や運営縮小に伴う教職員の負担減が見込まれる。

- ・法人のバックアップ（人事異動、交流）はどうか。

→ 事務局：一部事務職員の異動はあるが、教員について、そもそも設置学科が異なり、教員要件（専門性）等も違うため異動対象とならない。

(2) 項目 5 : 川端委員

- ・⑤(卒業生支援)について、募集停止、学校廃止後の対応はどうか
→事務局 : 学校廃止までは、各問い合わせや証明書発行等同様に対応。
以後については法人本部で対応
- ・同窓会(組織)も活用し、何らかの形で卒業支援に関わりを持ちたい。

(3) 項目 8 : 牧野委員、川端委員

- ・他の収益事業について、今後の見通しはどうか。
→事務局 : 介護に関する付帯事業(実務者研修、初任者研修)を継続
- ・ITコース新設に伴い、現任者対象の医療DXに関する講座を設けては。

5) まとめ

川端委員長

本委員会での評価や意見、第2部(教育課程編成委員会)をふまえ、学校運営の改善や教育の質の確保等に活かしていただきたい。

※他の項目について直接的な意見等なかったが、教育課程編成委員会で取り上げられた内容もあり、関連づけて評価できる。

以 上